

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市上野山児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》24,405人（前年度比 98.3%） 平成30年度 24,826人 平成29年度 25,635人 平成28年度 24,281人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 35,711千円 （35,332千円） その他市が負担した費用 0千円 （0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 （0千円） その他収入 0千円 （0千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、高学年児童が全員ジュニアスタッフとなり、行事などの企画・運営に参加しリーダーとしての役割を担うほか、日常の活動や行事等を通して、全ての児童の自主性を育む環境づくりに努めている。また、保護者を対象とした懇談会を開催するほか、クラブ通信を年6回発行し、育成支援の内容や子どもの様子について適切に家庭に伝えており、子どもに関する情報を共有することで家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

今年度は、「笑顔かがやく上野山児童館」をスローガンに館運営を行ってきました。年間の利用者数に大きな変化はありませんでしたが、日常の活動や行事をおして児童や利用者の皆様のたくさんの「笑顔」を見ることができました。

児童クラブの活動を中心とした放課後健全育成事業においては、児童の意欲が高まり自主的に活動できるような場の設定を行ってきました。こまやけん玉などの昇級制や将棋やオセロの昇段制を取り入れて活動し、意欲を示す児童が多く見られました。活動の時間帯や児童の利用状況の偏りもあり、活動が継続できない児童もあり、次年度の課題となる部分もありました。「マイバック作り」や「編み物に挑戦しよう」等の行事は、自分が使えるものを制作したこともあり、行事日だけでなく継続して熱心に取り組む姿が見られました。ジュニアスタッフの活動は、児童館まつりを中心に児童館行事を支え、そのことで児童の一体感や意欲を醸成することができました。

子育て家庭支援事業では、「サーキットタイム」や「ブラレータイム」などの場の設定や乳幼児対象の行事、子育て支援クラブとの共催行事などを企画しました。参加人数にばらつきが見られましたが、参加した乳幼児親子からは好評で、また参加したいという声もたくさんいただきました。普段の利用も含め、利用者増を目指し、さらに場の設定や行事内容を工夫すると共に、広く参加を呼び掛ける広報活動に力を入れていきます。

地域との交流は、将棋デーやお話会等で地域ボランティアを積極的に活用しました。地域ボランティアとの交流は、児童にとって良い刺激となり活動の活性化につながりました。また、和太鼓「飛竜の会」は、地域での演奏が10回を超え、活動している児童の意欲と自信が高まりました。発表の場が増えたことは、地域に根付いてきている証とも言えます。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

子育て世代の抱えるニーズや課題の把握に努め、積極的に事業に反映させている。具体的な取り組みとして、幼児クラブを登録制から発達に応じた自由参加のプログラムに変えたことにより、参加者の増加に繋がった。また、近隣保育所と連携した育児情報の提供や、悩みを相談できる場を設ける等、子育てしやすい環境づくりに取り組んだ点が評価できる。子育て支援クラブとの共催行事「クローバーサロン」では、託児や見守り付きのヨガやアロマセラピー教室を開催し、保護者がリフレッシュできる機会を提供することができた。

児童クラブでは、オセロやけん玉などの遊びに昇級の目標を設定したことで、子どもたちが意欲的に参加し、日常的に達成感を味わえる取り組みとなった。次年度は、利用状況等に関わらず継続した活動につなげられるような創意工夫に期待したい。

小学生の和太鼓クラブ「飛竜の会」の活動は、クラブ員も増え、地域行事等で年10回ほど発表を行うなど、地域の中に活動の場を広げており、児童館の認知度や児童の自己肯定感の向上につながっている。

併設の放課後等デイサービスとの合同行事の実施や、地域の方による遊びや将棋のボランティア活動等、子どもたちが様々な人と接する機会を提供することにより、障害に対する理解や世代間交流が図られている。

また、児童館まつりでは、子育て支援クラブや仙台手をつなぐ育成会など地域の諸団体の協力を得ながら企画・開催しており、多くの方が集う地域交流の場となっている。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課